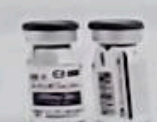
認知症新薬 年298万円

保険適用 20日から販売



アルツハイマー病新薬「レカネマブ」商品名レケンビ＝エーザイ提供

厚生労働相の諮問機関、中央社会保険医療協議会（中医協）は13日、認知症新薬「レカネマブ」の公定価格（薬価）を、患者1人（体重50キロの場合）当たりの治療で年約298万円とすることを了承した。20日から公的医療保険の適用対象となり、開発したエーザイは同日から販売を開始すると発表した。

効果に期待する人が多い一方、高額薬で市場規模はピーク時に年986億円に及ぶと見込まれ、医療保険財政を圧迫するとの懸念もある。

レカネマブ（商品名レケンビ）はエーザイと米バイオジェンが共同開発し、病気の原因物質を除去することで進行の抑制を狙った初の認知症薬となる。対象は軽度認知症患者と、その前段階の人。エーザイは、実際の投与は本年度は400人で、20万人と推計、実際の投与は本年度は400人で、最大年3万2千人を見込んでいる。同社によると、この

障害者アート 見て使って

ウェブ公開「デザインを商品に」

障害のある人のアート作品を商品デザインなどに活用してもらう取り組みが石川県内でも広がっている。15日には作品を広く見てもらおうと、ウェブで紹介する「デジタルミュージアム」が新たに開設される。既に九谷焼やバッグなどのデザインに活用される実績も出てきた。（井上靖史）

主に精神障害や発達障害がある人がビジネススキルを学ぶ「障がい者ビジネススクール」（金沢市安江町）。15日に生徒の作品をインターネットで紹介するデジタル博物館を開設する。同じスクール名で活動し、交流もある熊本県などの九州に所在する三つの別法人とも連携する。各校の生徒が手がけた絵や造形など200点以上を合わせて見てもらえるようにする。

金沢のスクールは障害者総合支援法に基づき、18～65歳の18人（定員20人）が就職するためのビジネススキルを身につけようと、通所やオンラインで学んでいる。頭の中を整理する訓練につながるとして週2回、アート制作に励む。だが、見てもらう場がなく、ウェブで公開を決めたという。

金沢の生徒が手がけた作品は、絵画やちぎり絵、ステンドグラス、刺しゅうで共同で作品展で表彰を受けたシンベエザメの切り絵などもあるといい、売り上げの20～70％を作者に還元する方針だ。

向野諸理事（45）は「世界中どこからでもウェブで存分に見ていただきたい。Tシャツや風呂敷、コースターなどのデザインに使ってほしい」と期待。障害者アートのデジタル化を推進したいとして、近隣の他施設が作品のウェブ公開を希望すれば併せて公開することも検討する。問い合わせは、スクール＝電076（254）0902＝へ。

❶作品を紹介する「障がい者ビジネススクール」の向野諸理事（右）❷コンビジネススクール生ののり絵作品＝いずれも金沢市安江町のスクールで

九谷焼、エコバッグ…輝く「百万石フォント」

金沢のNPO 絵柄や字体制作

百万石フォントがプリントされた商品を見せる（左から）橋本謙次郎さん、西田野織さん、横山真紀さん。ネクタイと帽子の中は非売品＝金沢市袋町のイベント会場で

「百万石フォント」と石川県らしい名前でデザインを売り込んでいるところもある。障害福祉サービスなどを手がける金沢市のNPO法人「地域支援センターポレポレ」。県内のデザイナー3人と共同で絵柄や字体を作り、既に九谷焼などにプリントされている。

百万石フォント・パターンは24種類。瓦かみを感じさせるアルファベット「うねうねフォント」や、カニを一定間隔でちりばめた「カニ格子」「漢数字『百』をあめなどで」ウェブで見られる。

デザインの原画をポレポレ利用者が考えた。金沢市や県内小松市を拠点に活動する橋本謙次郎さん（56）、横山真紀さん（54）、西田野織さん（32）のデザイナー3人が色合いや絵柄の配置、サイズを考えて、アレンジした。

百万石フォント誕生のきっかけは今年10月、「いしわ百万石文化祭」関連事業として金沢市で開催された「きらめく個性一全国障害者作品展」。雨が多い北陸を表現しようと橋本さんらがポレポレに原画を依頼したデザインした傘を仕べたが評だったため今後も続けることにした。既に九谷焼の他にエコバッグやメッセージカードなどにプリントされている。売り上げの一部がポレポレに還元される。

百万石フォントのデザインを使ったポシェットを販売する鞄メーカー「カジレーネ」（同県かほく市）の担当者は「なかなか私たちの発想では浮かばないデザイン。地元らしさもあり、とてもすてきだなと思った」と話す。

百万石フォントの問い合わせはポレポレ＝電076（287）3414＝へ。

「ほくろとれる」クリーム

重篤な障害の恐れ

「ほくろがとれる」というクリーム（点痣膏）＝国民生活センター提供

国民生活センターは13日、インターネット通販で購入したほくろがとれるというクリーム（点痣膏）による事故情報が寄せられているとして、使用しないよう注意喚起した。セルクリーンによるとクリームは強アルカリ性で、皮膚に使用すると重篤な障害を引き起こす恐れがあるという。

点痣膏は中国語で、ほくろやいぼが取れるクリームという意味。点痣膏に関する相談は5月以降で4件あり、うち3件で健康被害が生じている。

ネイチャー今年の10人 阪大・林教授